

## 校長室の窓からNo. 4 (H28. 7. 6)

### シリーズ「成長の実感について④」

～「目標や使命感は、明日を照らす人生の道標（羅針盤）  
となります」～



自分の目的や理想の実現に向けて努力し、成し遂げることを「自己実現」と言います。その自己実現や自分の将来を支えるのは、「目標」「使命感」、そして、「夢」だと考えます。ただし、「夢」はとても大切なことですが、現実との距離があり過ぎると、「そんな夢みたいなこと」と思ったり実効性のないものになってしまう可能性があります。しかし、私は、現実との距離があっても構わないと思っています。実現可能だと信じ続けることで、思いがけなく距離が縮まる場合もあるからです。

さて、**夢と現実の距離は、たくさんの心理学者の研究によって、縮まる方法が具体的に**見つけられています。その方法は**極めてシンプルな方法で、具体的な目標と具体的な取組を決めて書くことと示されています**。そのことにより、夢のイメージが明確になり実現可能性も高まってくるというわけです。具体的な目標や具体的な取組は、何回とか何時間、何日、何点、何%というように数値目標（記録化できる目安）を決めておくと、反省などで過去の自分と比較するなどフィードバックができ、より良いです。この取組は、学力向上やスポーツの競技力向上、器楽演奏の向上などに応用され、その範囲は極めて広いものとなっています。さらには、**目指す目標が、自分がなぜそれを目指すのか、使命感に支えられていれば、よりモチベーションが高まります**。そして、**目標は、自分の存在・活躍・個性を証明するだけでなく、今の社会や次世代へ貢献をするという使命感がイメージとして加わると、より強いモチベーションとなります**。

本校の教育の重点目標は、「一人ひとりが自分の成長を実感する、らしさが際立つ学校を創る」になっています。そのために、①重点目標を達成するための具体的方策、②成果と課題を分析し、結果の可視化を行い、達成感・充実感を味わう、③児童の変容の様子を見とり（検証・点検し）、達成感・充実感を味わう、としています。※①は16項目の具体的方策と、その1項目ごとに2～6種類の細案が設けられています。②③については、児童に対して、様々な自己評価アンケートや感想メモを用いて、客観性を高め、達成感・充実感を味わうようにしています。

CMでよく宣伝されているアステラス製薬さんの「アステラス」という名称は、「星」を意味するラテン語やギリシャ語、英語などが由来ですが、日本語の「明日を照らす」にもなっているそうです。アステラス製薬さんのホームページには、「明日を照らす」のほか、「明日は変えられる」「最先端の医薬品で、健康を願う人すべてに、明日への希望をもたらす、日本発のグローバル製薬企業として発展していくという思いが込められた名称です。」と書かれています。私は、ホームページに書かれていたその言葉や内容がたいへん素晴らしいと思いました。

このようにいろいろ考えを巡らしていきますと、目標や使命感は、人生をも切り開く大事な要素となりますし、明日を照らしながら将来に向けた夢や希望を生み出していくものと考えます。また、目標や使命感は、道路では道標、航海では羅針盤となります。従って、「目標や使命感は、明日を照らす人生の道標（羅針盤）」になると考えます。

（※写真は全校児童が取り組んでいる「環境の木」・・・節電した人、節水した人、（保温対策で教室の）戸を閉めた人、ベルマークを集めた人、リングプルを集めた人の5種類のどれかができた人は1回1シール（それぞれ5色のシール）を貼ることで、1シールは1個の実として、写真のようにそれぞれ一杯に実をつけることができました。実で可視化することで、取組の達成感・充実感が得られます。）

